

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.10.25 No. 244 連絡先 FAX 042-555-1911



オスプレイ 10月9日から19日まで横田基地を拠点に観艦式や東富士へ

9日、オスプレイ 2機が横田基地に飛来。

2015年10月のオスプレイ離着陸状況

12日、1機が出たり入ったりしました

13日、16時30分、1機が離陸、東富士で離着陸訓練。20時6分、横田基地に着陸。

17日、17時50分、オスプレイ 1機着陸。

18日、10時57分、1機が離陸、海上自衛隊観艦式本番へ。12時43分、横田に着陸。

19日、10時00分、3機(タイガーの01番、02番、44番)が同時離陸、岩国に11:50分着陸。

10月だけで、14回の離着陸回数です。

2015年、これまでで62回の離着陸です。

オスプレイは災害救助に役立たないどころか有害、故障も相次ぐ

ネパール大地震では、沖縄のオスプレイが“救援”に向かいましたが、離着陸時のダウンウオッシュ(吹き下ろし)で民家の屋根を吹き飛ばし、ネパール地元紙に「役立たず」と書かれ、和歌山でも芝生を焦がし、先月の東日本水害でも水難にあった住民を救出できません。オスプレイの可働率の目標は82%です。2014年6月～2015年6月の稼働率は62%～71%とマリンコータイムスは報じています。

回	月日	時刻	機番	離着	備考
49	10.9	17:14	T-02	着	岩国発 15:29
50	〃	〃	T-44	着	〃
51	10.12	10:53	〃	離	観艦式事前公開参加
52	〃	12:42	〃	着	〃
53	〃	13:53	〃	離	東富士演習場へ訓練
54	〃	〃	〃	着	ローパス後着陸
55	10:13	16:30	?	離	東富士へ訓練?
56	〃	20:06	?	着	ローパス後着陸
57	10:17	17:50	T-01	着	岩国発 15:50
58	10:18	10:57	T-02	離	観艦式参加
59	〃	12:40	〃	着	ローパス後着陸
60	10:00	10:00	T-01	離	岩国着 11:50
61	〃	10:00	T-02	離	〃
62	〃	10:00	T-44	離	〃



CV22横田配備に関する環境レビュー公表 防衛省「ない」と騙していた

防衛省は10月15日、米空軍の特殊作戦機 CV22 オスプレイの横田基地への配備にあたって米空軍が作成した「環境レビュー(審査報告書)」を公表しました。

環境レビューは2015年2月24日付で、米空軍特殊作戦コマンド(司令部)が作成しました。日本政府はこれをいつ受け取ったのでしょうか。

接受国通報があった5月11日より2ヶ月以上も前の報告書です。

5月19日には、CV22 オスプレイ関連と思われる施設・整備工事事業者の公募を米軍はしました。その後、住民が、説明不足だ、環境レビューはないのか等、機会あるごとに聞きましたが、ないとウソを言い、「環境レビュー」作成後8ヶ月を過ぎて、ようやく国民に公表です。

空軍特殊作戦コマンド

フロリダ州ハルバート・フィールド

CV-22の横田飛行場配備に関する
環境レビュー



2015年2月24日

「CV-22横田配備に関する環境レビュー」簡単な概要 (No. 244の裏面)

- ・2017年後半に3機、2021年までに7機を追加し10機を配備。
- ・嘉手納基地におかれている第353特殊作戦群司令部を改組して、CV22やMC130などの特殊作戦飛行隊を指揮する新司令部を創設。人員は軍人・軍属など430人の純増。
- ・横田基地内の施設建設は、2015～2020米会計年度にかけて、駐機場、格納庫、チャフ・フレア、弾薬・装備の保管施設、シュミレーター(模擬訓練装置)などを追加・改修する。
- ・訓練は、東富士演習場(静岡県)、米空軍三沢対地射爆場(青森県)、首都圏の1都8県にまたがる「横田ラプコン(進入管制区)」などを挙げている。
- ・騒音レベルは、ナセル傾斜60度(回転翼の傾斜)で、対地高度150mで96デシベル、300mで92デシベル。C130の97、91とほぼ同程度。・低周波騒音の発生にも言及している。等々。

福生市の市有地(自由広場)貸付による自衛隊宿舎の建設

福生市の市有地「自由広場」(福生市大字福生字武蔵野2131番地1、面積約11,429㎡)を業者に貸付、90戸以上の住宅を建設し、自衛隊の隊員用宿舎にすることが分かりました。

2014年12月15日、防衛省北関東防衛局長名で「航空自衛隊横田基地における隊員用の宿舎について」協力依頼が、福生市を含む近隣市町(昭島市・羽村市・瑞穂町)にありました。

内容は、(1)横田基地第2及び第5ゲートから、概ね2kmの範囲であること、(2)概ね90世帯分の宿舎並びに駐車場及び公園等の付帯施設が確保されること、となっています。

福生市では、自衛隊員等の居住による人口や市税収入の増加、災害発生時等の横田基地の即応性向上などを考慮し検討した結果、上記の条件を満たす未利用地である自由広場が候補地となり、株式会社等が市有地を定期借地し、設備投資や運営を民間事業者任せのPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)手法で事業をすべきとの結論に至ったそうです。

契約内容については、一般定期借地とし、定期借地権設定契約は50年とします。事業期間30年以上経過後、協議の上合意に至った場合は、解約できるものとします。契約の更新及び建物の築造による存続期間の延長はしません。建物の買取請求権は設定しません。

貸付料年額は固定資産税相当額(3,975,068円)以上で、事業者が提案する額。

11月1日(日)貸付開始、建設工事着工(～3月末)は、遅れている模様。

福生市は、貸付料以外に、家屋固定資産税7,384,203円、市民税13,608,000円、合わせて20,992,203円を歳入として見込んでいます。(自衛隊員増は基地強化に繋がらないのでしょうか。)

「オスプレイの横田基地配備に賛成? 反対?」シール投票 反対が多数



9月20日の横田基地「友好祭」の時に、座り込みに参加した青年たちが「オスプレイの横田基地配備に賛成? 反対?」というシール投票を行いました。結果は意外?に、賛成18、わからない18、反対28と反対が最多になりました。取り組んだ青年に聞いてみたところ「賛成と答えた人からは『安全だから』『災害時に役立つから』という声があり、他は『わからない』という人が多かったとのこと。

ある店主の女性に「あれは何をやっているのか」と聞かれ、「オスプレイの横田基地配備の賛否のシール投票です」と答えると、「えっ!? オスプレイってあの危ないっていうやつですよ。じゃあ私の分も反対に貼ってください」と言われました。(I氏)